



三川小学校のスローガン **よく学び、よく遊べ！そして助け合う三川っ子！**

「？」と思う心を育てる

「いすみ 小5が発見 八つ葉のクローバー」
5月29日発刊「千葉日報」に、こんな記事が掲載されました。

5月21日の下校中、小5男子が田のあぜ道を歩いていたら、ふと四つ葉のクローバーが目についたそうです。そして、「四つ葉があるなら、五つ葉とかもあるのでは。」と思い、探したところ、たくさん葉のついた株が！「数えたら八つ葉だった。スーパーレアだと思った。」と感想が書かれていました。

彼の探究心は止まらず、ネットで調べてみると、「四つ葉は約1万本に1本、五つ葉は100万本に1本、六つ葉は1600万本に1本、七つ葉は2億5000万本に1本の確率で、八つ葉については情報もない。（一説には数億分の1の確率とも）」と分かったそうです。

さらに、興味関心は広がり、ギネス記録も調べてみたところ、2009年に岩手県の男性が56葉のクローバーを見つけたことが分かり「少し残念に思った。」が、「それでもすごいレア。もう一度見つけたいし、この幸運を世界中の困っている人に分けてあげたい。」と笑顔で話したとのことでした。

この数億分の1の大発見は、旭市からそう遠くない、同じ千葉県内、小学5年男子の何気ない「？（はてな・疑問）」から始まったものです。子どもたちが、なぜだろう、どうしてなんだろうと考え、それを解決しようと実行していくことで、大人が予想もしないような力を発揮することがあります。それが授業中かもしれないし、放課後かもしれないし、漫画を読んでいるときかもしれません。親子の何気ない会話から生まれることも、大いにあると思います。

クローバーは、公園等のような身近な場所で見られる別名シロツメクサ。本来は三つ葉ですが、人通りの多い所でたくさん踏まれると、茎の先端などの成長の速い部分が傷つけられ、これが原因で葉が四枚の四つ葉ができると言われています。

本校のグラウンドやなかよし広場にも、シロツメクサは群生していて、外遊びの子どもたちに毎日たくさん踏まれています。また、定期的な草刈り作業で、茎の先端などの成長の速い部分が傷つけられています。もしかしたら、八つ葉以上のクローバーが見つかるかもしれません。「幸せのシンボル」とされる四つ葉のクローバー。その倍以上のクローバーが、三川小から見つかったら、何か良いことが起きそうで、わくわくします。

今回のいすみ市の彼のように、学校帰りに大発見があるかもしれません。（徒歩での下校の醍醐味です。決して寄り道はいけません。が…。）

いつ、どこで湧き上がるか分からない、子どもたちの大いなる好奇心を大事にしていきたいと強く思っています。

校長



【見つけた八つ葉のクローバー】

(2024/5/29 千葉日報紙面より)

学校公開

6月14日(金)は、飯岡中学校区の三校合同学校公開日でした。大勢の保護者の皆さんが来校され、普段の児童の様子を参観いただくことができました。1年の授業では、タブレット学習の様子を参観するうちに、思わず一緒に操作をして、感心している保護者の姿がちらほらと…。



また、この日は「スマホ安全教室」も実施しました。民間企業の講師とオンラインでつながり、児童と保護者の両者で参加し、スマホの便利さや怖さ、SNS利用の際の危険性と注意点を学びました。



家庭と学校が同一歩調で児童の支援をしていく重要性を、改めて考えさせられました。

読み聞かせの世界へ

PTA読書推進部の方々による「朝の読み聞かせ」が始まりました。どの学年の児童も楽しみにしています。本の世界に浸る豊かな時間です。



救命救急講習

6月17日(月)から、水泳学習が始まりました。水の事故に備えて、教職員で救命救急講習を実施しました。子どもたちの安全を第一に、楽しい水泳の授業を行っていきます。



体験を通して

2年生と4年生で、落花生を育てています。千葉県指導農業士の高品さんを講師に迎え、落花生の殻むきから教えていただきました。



畑は、なかよし広場とグラウンドの間。児童は時間を見つけては雑草抜きに勤しみ、収穫を楽しみに大事に育てています。



5年生は、米作り体験をしています。初めは水田の感触にとまどいましたが、慣れれば泥んこになりながらも熱心に田植えをしました。5年児童が帰った後、お米の先生の石毛さんが、苗を整えてくださいました。



2つの体験とも、地域の方々のご協力で成り立っている活動です。そのことに気づき、感謝できる児童を育てていきます。

ヘルメット着用を

6月に入り、新年度の緊張も解け、落ち着いてきました。と同時に、学年が上がり、子どもたちの行動範囲も広がってきています。



学校では、低・中・高学年と、自転車に乗れる範囲を決めています。(学校HP「学校生活のきまり」に掲載) 自転車に乗る場合には、ヘルメットの着用をお願いしているところです。自転車乗車中に起こる事故の衝撃は、歩行中に起こる事故よりもずっと大きくなります。その際に、頭部を守るのはヘルメットになります。大事なお子さんを守るため、ヘルメット着用へのご理解ご協力をお願いします。

